小平町防災マップ完成

もしもの時の災害に備えて　Obira Town Hazard Map

日本は自然災害の多い国で、特に昨年の東日本大震災による被害は、日本海に面している小平町にとっても他人事ではなく、改めて災害の恐ろしさと**日頃からの備えが大切**であるということを再認識させられました。

今回完成し、全戸配布された「小平町防災マップ」には、防災に関する一般的な情報と、大雨・津波発生時の危険範囲、一時避難場所や避難所等の生命に関わる大切な情報が掲載されています。

◆今回配布した表紙の中には、以下のマップ等が入っています◆

①大きな図面（１枚）

表面には、「大雨時危険区域図」と「津波浸水予測図…※」、災害時に一時的に避難する「一時避難場所一覧」や避難者を収容する建物である「避難所一覧」等が掲載されています。

裏面には、万が一の災害の時に役に立つ情報が掲載されています。

②小さな図面（小平・臼谷・鬼鹿　各１枚）

この図面（津波浸水予測図…※）には、小平町に津波が襲ってきた場合の浸水予測の範囲が色で示されています。

また、代表的な避難方法や、避難のときの目安となる標高（20ｍライン…緑・６ｍライン…赤）、津波時の避難所の情報が示されています。

この３枚の図面に収まりきらなかった海沿いの居住地域については、①の大きな図面に、津波浸水予測図が掲載されています。

※津波浸水予測図とは…

津波浸水予測図とは、今後北海道の日本海側に津波を引き起こす可能性がある地震の中から、小平町に大きな影響を与える３つを選び、その中で最も大きな浸水範囲や浸水の深さを表したものです。

ただし、これはあくまでも予想であり、想定よりも大きな津波が襲来し、浸水の範囲や深さが大きくなる可能性があります。さらに、津波の第１波ではなく、第２波・第３波が最大となる可能性もあります。

また、この予測は東日本大震災以前に作成されたもので、現在北海道で予測図を見直していますので、新たな予測図ができしだい、小平町の津波浸水予測図も更新いたします。

◆マップの活用方法◆

- 自分の避難先や避難ルートを確認しましょう。
- マップを元に家庭や近所、町内会で連絡方法や避難の仕方について確認しましょう。
- 配布した表紙の裏面にある「わが家の防災メモ」を活用し、避難所や緊急連絡先を確認しましょう。
- 「わが家の防災メモ」で避難時の服装と持ち出し品を確認し、日頃から準備しておきましょう。

↑わが家の防災メモ

このマップについて詳しい見方がわからない場合には、町内会・老人クラブ・婦人会の集まり等、どのような機会でも企画振興課（☎56－2111　内線207・208）までご連絡をいただければご説明に伺います。

3.11の被災を忘れない　絆　皆で願おう災害のない町